



「官民による若手研究者発掘支援事業」 制度の説明

本資料は公募説明資料ではありません。
応募をご検討の際は、必ず対象の公募情報をご確認の上、ご検討ください。

2025年2月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
フロンティア部 若手研究者支援ユニット

「官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）」は「テーマ公募型」の「助成事業」です。

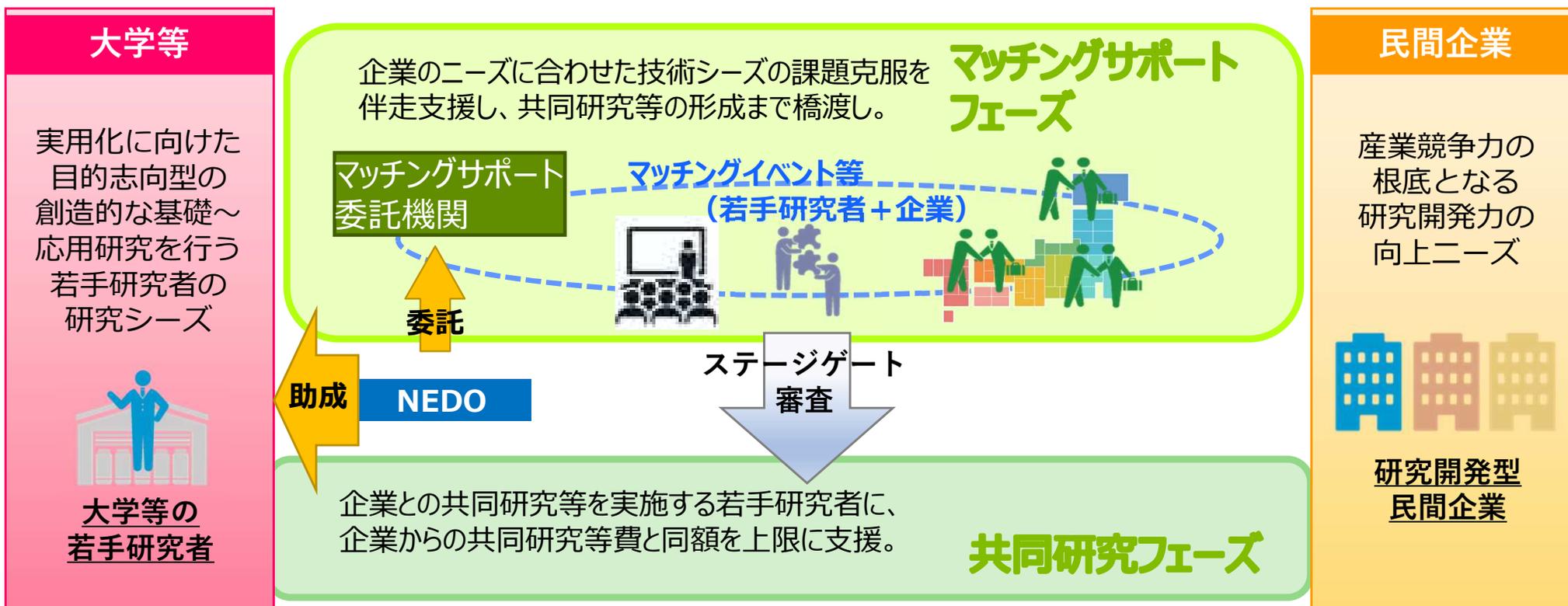
	ナショナルプロジェクト型 (課題設定型)	テーマ公募型
目的・目標	NEDOが設定	提案者が設定
分野・領域	NEDOが設定	提案者が設定

■官民による若手研究者発掘支援事業

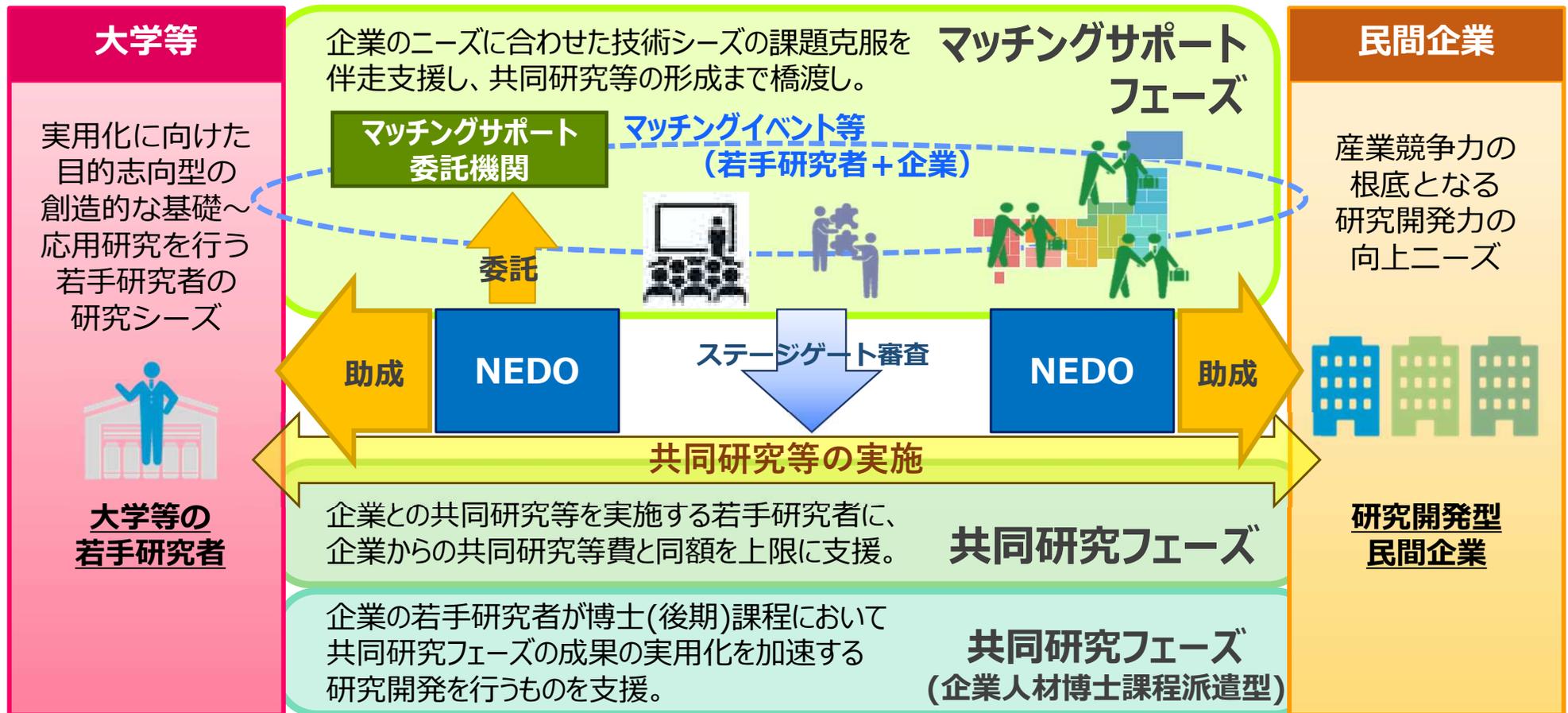
https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

本事業の概要

目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献することを目的として実施します。



本事業の概要



- 実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う大学等に所属する若手研究者（**45歳未満***）を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進。

*但し、出産・育児・介護により研究に専念できない期間があった者については、50歳未満であること。



次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献

官民による若手研究者発掘支援事業

目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援します。

	マッチングサポートフェーズ	共同研究フェーズ	共同研究フェーズ (企業人材博士課程派遣型)
対象者	大学等 ^{※1} に所属する若手研究者 ^{※3}		共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施する企業 ^{※2} に所属する若手研究者 ^{※3}
事業形態	助成		
費用	1テーマあたり1千万円以内/年 (助成金は原則、最初の1年間(2か年度)に対してのみ交付)	1テーマあたり3千万円以内/年 (共同研究等を実施する企業から支払われる共同研究等費と同額以下)	1テーマあたり5百万円以内/年 (若手研究者が所属する企業が本テーマの実施にあたり支出する経費の1/2)
事業期間	最大2年間	最大3年間	最大3年間
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術(例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等)に係る研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るもの、及び、医薬品や医療機器として医薬品医療機器総合機構(PMDA)の審査・承認を受けることを前提としたものは除く。		

- ※1 大学等：国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関
- ※2 企業：日本国内に登録されている企業(その事業活動に係る主たる技術開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有するもの)及び技術研究組合
- ※3 若手研究者：マッチングサポートフェーズ、共同研究フェーズにおいては、大学等に在籍する研究者で、助成事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位の取得者であり、かつ45歳未満であること。共同研究フェーズ(企業人材博士課程派遣型)においては、共同研究フェーズにおいて助成事業を実施する大学等の若手研究者と共同研究等を実施する企業に在籍する研究者で、助成事業の開始年度の4月1日時点において、45歳未満であること。(ただし、出産・育児・介護により研究に専念できない期間があった者については50歳未満とする)

	公募期間
第1回	2020年 6月23日～2020年 8月17日
第2回	2020年12月28日～2021年 2月 5日
第3回	2021年 8月31日～2021年10月25日
第4回	2022年 3月28日～2022年 5月16日
第5回	2023年 2月 6日～2023年 4月11日
第6回	2024年 3月27日～2024年 5月14日
第7回	2024年 10月11日～2024年11月19日

【第7回公募】

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00074.html

本事業の概要 標準的なスケジュール



※1 共同研究フェーズから事業を開始することも可(公募で採択)。

※2 マッチングサポート期間は2年間(3か年度)、助成金の交付は2か年度。

【マッチングサポートフェーズ】

大学等に所属し、産業界が期待する目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施する若手研究者と企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援を行います。また、審査で助成対象事業として採択されたものについて助成します。

【共同研究フェーズ】

大学等に所属する若手研究者が企業と共同研究等の実施に係る合意書を締結し、企業から大学等に対して共同研究等費用が支払われることを条件として、実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施するものについて助成します。

共同研究フェーズ 概要

大学等に所属する若手研究者が企業と共同研究等の実施に係る合意書を締結し、企業から大学等に対して共同研究等費用が支払われることを条件として、**実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究**を実施するものについて助成します。



■ **助成金交付先**：若手研究者（主任研究者、登録研究員）が**所属する大学等**

■ **事業規模**：1テーマあたり**6,000万円以内／年**（NEDOからの助成金は**企業から支払われる共同研究等費と同額以下**とし、1テーマあたり**3,000万円以内／年**）

■ **助成事業期間**：**最大3年間（4か年度）**

※助成金の交付決定期間は2年間（3か年度）とし、2年目終了前に実施する中間評価により、研究開発実施内容の見直しや、研究開発を中止する場合があります。

※事業終了後、5年以内の実用化（研究開発の成果が産業に応用されること）を目指すものとします。

共同研究フェーズ 対象事業

産業技術分野及びエネルギー・環境分野での実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究※1
で、**新産業の創出等に貢献することを旨として企業との共同研究等※2**を行うもの。

但し、**「医薬・創薬分野、医療機器分野※3」**での実用化に事業目的を限定した研究開発提案は対象外。

- ※1 経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等。但し、原子力技術に係るものは除く。）に係る研究開発を行うもの
- ※2 日本国内に登録されている企業（その事業活動に係る主たる技術開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有するもの）と、実用化に向けた取り組みとして共同研究、受託研究、寄付講座、技術指導、研究インターンシップ（事業終了後に民間企業での採用も視野に入れて、民間企業のテーマを実施するイメージ）、クロスアポイントメント制度の活用等を行うもの
- ※3 医薬品や医療機器として、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたもの

《対象となる共同研究の例》

【パターン1】 企業と新規テーマで共同研究を開始する場合。

【パターン2】 既に別の共同研究を行っている相手先企業と、**本事業に提案する新規の研究開発計画（テーマ、期間、契約額等）**に沿って「合意書」（P.27）を作成し、共同研究等を開始する場合。

- 本助成事業以外の研究開発成果と合わせて実用化を目指すものでも構いません。
（ただし、研究開発の実施内容や資金等は分けて整理されている必要があります。）
- 成果発表等の際には、本事業により支援を受けたことを必ず表示してください。
他の研究開発での成果と併せて発表を行う場合も同様です。

マッチングサポートフェーズ 概要

大学等に所属し、産業界が期待する目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施する若手研究者と企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援*を行います。また、審査で助成対象事業として採択されたものについて助成します。



- 助成金交付先：若手研究者（主任研究者、登録研究員）が**所属する大学等**
- 助成金の額：1テーマあたり**1,000万円以内**
- 助成事業期間：**最大2年間（3か年度）**

※ステージゲート審査により、共同研究フェーズへの移行が認められた場合、共同研究フェーズでの事業期間は最大3年間（4か年度）とします。

マッチングサポートフェーズにおける支援

① 技術シーズのウェブサイト掲載

- 若手研究者が有する研究シーズを紹介する専門サイトを開設。

若手研究者発掘支援
マッチングプラットフォーム
<https://wakasapo.nedo.go.jp/>



② マッチングイベント

- 若手研究者と企業等とのマッチングイベントを、リアルまたはオンラインで開催。

③ 産学連携セミナー

- 若手研究者及び産学連携担当者向けに、共同研究の成立に向けたセミナーを実施。

【内容例】産学連携マインドセット（動画）
企業に興味を抱かせるプレゼン技術（ワークショップ）
コミュニケーション技術（講義、ディスカッション）
知財（講義）

④ 助成事業の推進支援（伴走型のフォローアップ支援）

- 企業の関心事項を研究開発計画に反映するサポート、研究開発出口イメージの提案等の助言。

マッチングサポートの成果

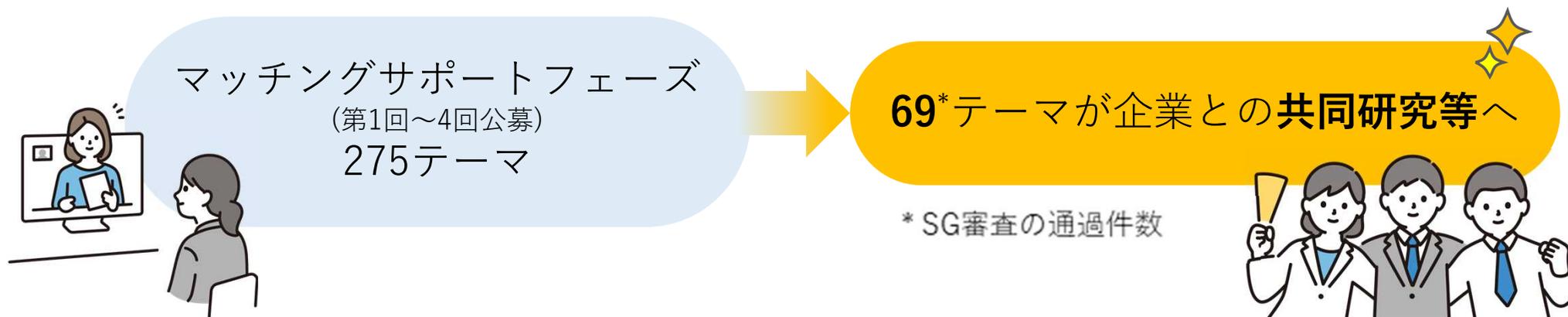
若手研究者と企業とのマッチングを支援するため、イベントや研修を複数回実施。



▲ マッチングイベントの様子



▲ 若手研究者への研修
(2024年度開催：計4回)



フロンティア部テーマ公募型事業の概要説明

本資料は公募説明資料ではありません。
応募をご検討の際は、必ず対象の公募情報をご確認の上、ご検討ください。

2025年2月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
フロンティア部

1. フロンティア部のテーマ公募型事業概略
2. 各事業のご紹介
 - 1) NEDO先導研究プログラム
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. 2025年度公募に関する情報

1.1. NEDOのご紹介

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization)

- NEDOは、持続可能な社会の実現に必要な研究開発の推進を通じて、イノベーションを創出する、国立研究開発法人です。
- リスクが高い革新的な技術の開発や実証を行い、成果の社会実装を促進する「イノベーション・アクセラレーター」として、社会課題の解決を目指します。



技術領域



エネルギー・環境技術

エネルギー

環境



産業技術

機械システム

電子・情報通信

バイオ
テクノロジー

材料・
ナノテクノロジー



スタートアップ・
分野横断

1.2. テーマ公募型事業の位置づけ

NEDO先導研究プログラム

未踏チャレンジ

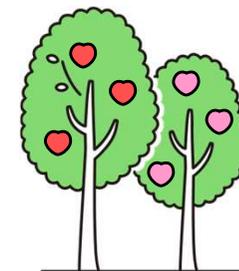
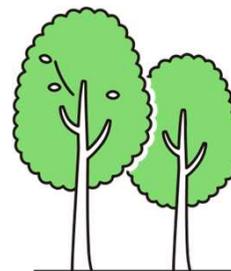
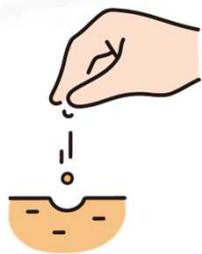
新技術先導研究
プログラム

フロンティア育成事業

官民による若手研究者発掘支援事業 (若サポ)

NEDO懸賞金活用型
プログラム

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の
研究開発・社会実装促進プログラム



シーズ発掘・創出

シーズ育成

本格研究

社会実装・実用化

1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
2. 各事業のご紹介
 - 1) **NEDO先導研究プログラム**
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. 2025年度公募に関する情報

2.1. NEDO先導研究プログラム



脱炭素社会の実現や新産業創出、**新規分野でのイノベーションの創出**に向けた課題の解決に資する「技術シーズ」を発掘・育成

事業期間：2014年度～（終了時期設定なし）

N E D O 先導研究プログラム

新技術先導研究プログラム

エネルギー・環境新技術先導研究プログラム(エネ環)

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発

← 海外展開部
で担当

新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム(新新)

フロンティア育成事業 **NEW**

未踏チャレンジ

1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
2. 各事業のご紹介
 - 1) NEDO先導研究プログラム
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. 2025年度公募に関する情報

2.1.1. 新技術先導研究プログラム



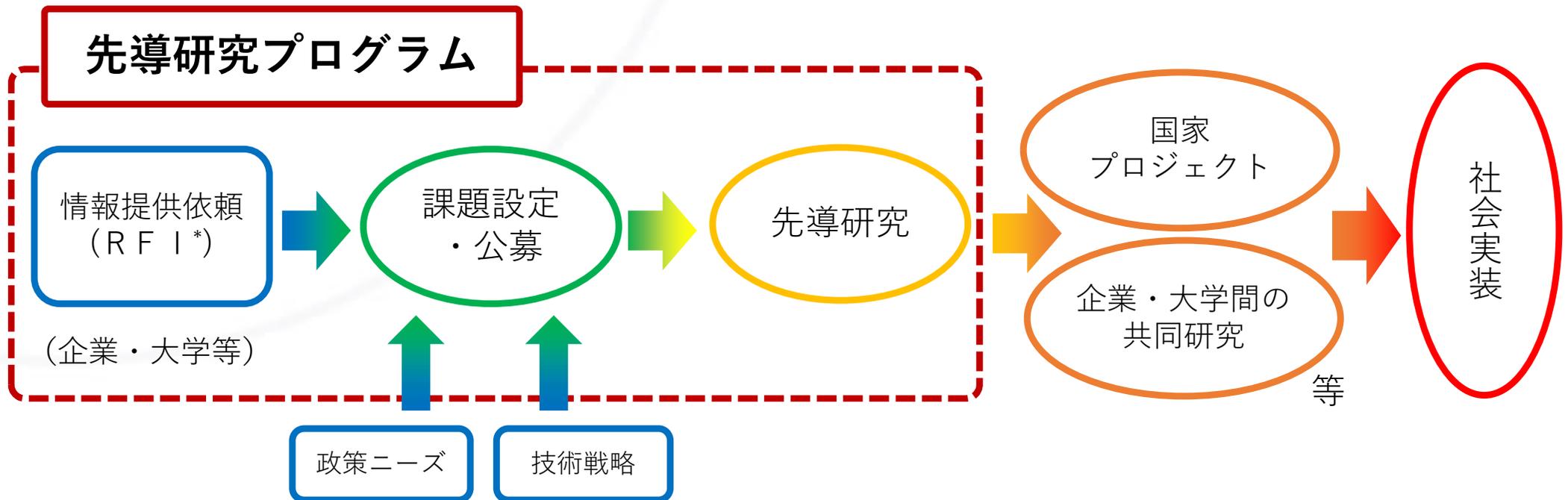
(「エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発」は除く)

	新技術先導研究プログラム	
	エネルギー・環境新技術 先導研究プログラム (エネ環)	新産業・革新技術創出に向けた 先導研究プログラム (新新)
概要	脱炭素社会の実現に向けて、 2040年以降の実用化・社会実装 を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。	新産業・革新技術創出に向けて、 事業開始後15年から20年以上先の実用化・社会実装 を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。
事業形態	委託	
各テーマの実施期間	最大3年間 (中間評価は実施期間2年の場合は1年目下期、3年の場合は2年目下期に実施し、最終年の実施可否や実施内容を決定)	
各テーマの規模	総額2億円以内 (1年目：1億円以内、2年目：5,000万円以内、3年目：5,000万円以内)	
実施体制	企業及び大学・公的研究機関等※による産学連携体制	

※ 国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

2.1.1. 新技術先導研究プログラム

- 脱炭素社会の実現や新産業創出に向けて、**エネルギー・環境分野、産業技術分野**において、2040年以降（先導研究開始から15年以上先）の実用化・社会実装を見据えた**革新的な技術シーズ**を発掘・育成する。
- これにより、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげる。



*RFI: Request For Information

※未踏チャレンジは公募課題ではなく領域を設定



2.1.1. 新技術先導研究プログラム

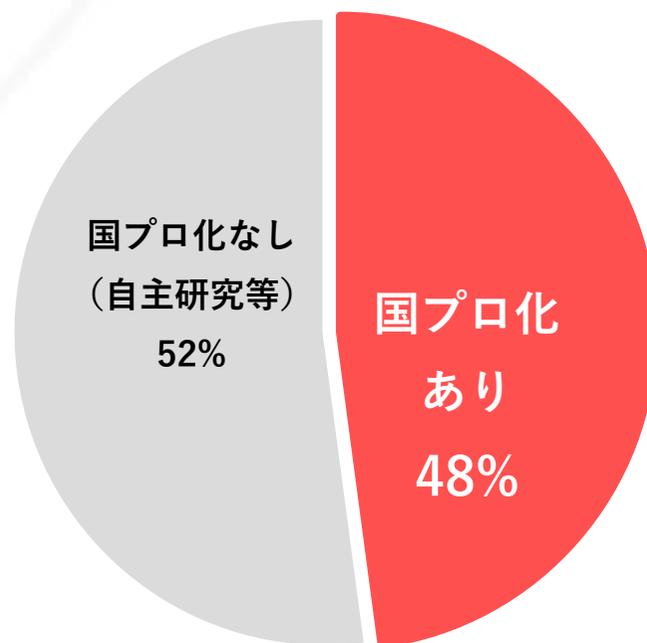


これまでの実績

2023年9月までに終了した新技術先導研究プログラム236テーマのうち、**113テーマ**が国家プロジェクトに発展。

→ 国家プロジェクトに移行した割合は**約48%**

→ 113テーマのうち、NEDOプロに移行したのは**89テーマ**



* 2023年度における追跡調査において、アンケート対象とした291テーマのうち、251テーマから回答あり（回収率 86.3%）。このうち、236テーマが新技術先導研究の終了テーマで、うち113テーマが国プロ化。

1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
2. 各事業のご紹介
 - 1) **NEDO先導研究プログラム**
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ **フロンティア育成事業**
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. 2025年度公募に関する情報

2.1.2. フロンティア育成事業



	フロンティア育成事業
事業概要	<p>新規分野でのイノベーションの創出に向けて、フロンティア領域※における技術を対象とする。</p> <p>※将来的なポテンシャルが大きい一方で、技術開発や市場の不確実性といったリスクの高さ、巨額の研究開発設備投資の必要性などの理由で、国としては重点投資していきたいにもかかわらず、個社だけでは投資が進みにくい領域</p>
事業形態	委託
各テーマの実施期間	<p>技術の内容やTRL（技術成熟度レベル）等に応じ実施期間や事業規模を公募課題ごとに柔軟に設定</p> <p>（原則、外部性を取り入れた中間評価を行い、その結果次年度以降の実施可否を決定）</p>
各テーマの規模	
実施体制	産学連携体制、民間企業のみ、大学・公的研究機関等のみ （事業化に向けた体制構築に取り組むことが条件）



2.1.2. フロンティア育成事業

公募対象となる研究開発課題一覧

課題番号	研究開発課題
Ⅲ-A1	極限マテリアル／産業用高温超電導電磁石開発に資する集合導体化技術の開発
Ⅲ-B1	極限マテリアル／産業用パワーレーザー開発に資する光学材料およびデバイスの開発
Ⅲ-C1	地下未利用資源の活用／天然水素の生成増進・回収実現に向けた研究開発

詳細は公募ページをご覧ください

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00084.html



1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
2. 各事業のご紹介
 - 1) **NEDO先導研究プログラム**
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ **未踏チャレンジ**
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. 2025年度公募に関する情報

2.1.3. 未踏チャレンジ

	未踏チャレンジ
事業概要	事業開始後30年先を見据えた温室効果ガスである二酸化炭素の抜本的な排出削減を実現する技術について、 既存技術の延長線上になく、従来の発想によらない革新的な技術シーズを探索・創出し、 国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげていく。
事業形態	委託
各テーマの実施期間	最大5年間 (2～3年目に中間評価を実施し、3～4年目以降の実施が認められたものに限る。)
各テーマの規模	年間500万～2,000万円程度
実施体制	企業及び大学等による産学連携体制、 又は大学・公的研究機関等※のみの体制

※ 国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関



2.1.3. 未踏チャレンジ

事業推進体制

NEDO

研究領域別のオーガナイザー
専門的見地から研究に対して指導・助言

委託契約
最大5年間
年間最大2,000万円

実施者

大学・国研等



企業等



研究開発推進委員会

(研究テーマ毎2回/年)

- 別の要素技術を担う大学や川上川下企業と技術情報を共有する場を提供
- 未踏事業終了後の出口戦略も検討

プログラムオーガナイザー

次世代省エネエレクトロニクス
金沢大学 特任教授
山崎 聡



環境改善志向次世代センシング
東京都市大学 特別教授
藤田 博之



導電材料・エネルギー変換材料
東京科学大学 栄誉教授
細野 秀雄



未来構造・機能材料
東京工科大学 学長
香川 豊



東京科学大学 教授
芹澤 武



CO₂有効活用

広島大学 特任教授
石谷 治
早稲田大学 教授
関根 泰



1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略

2. 各事業のご紹介

1) NEDO先導研究プログラム

- ・ 新技術先導研究プログラム
- ・ フロンティア育成事業
- ・ 未踏チャレンジ

2) 官民による若手研究者発掘支援事業

3) NEDO懸賞金活用型プログラム

4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

3. 2025年度公募に関する情報

若手研究者との共同研究等を後押しする

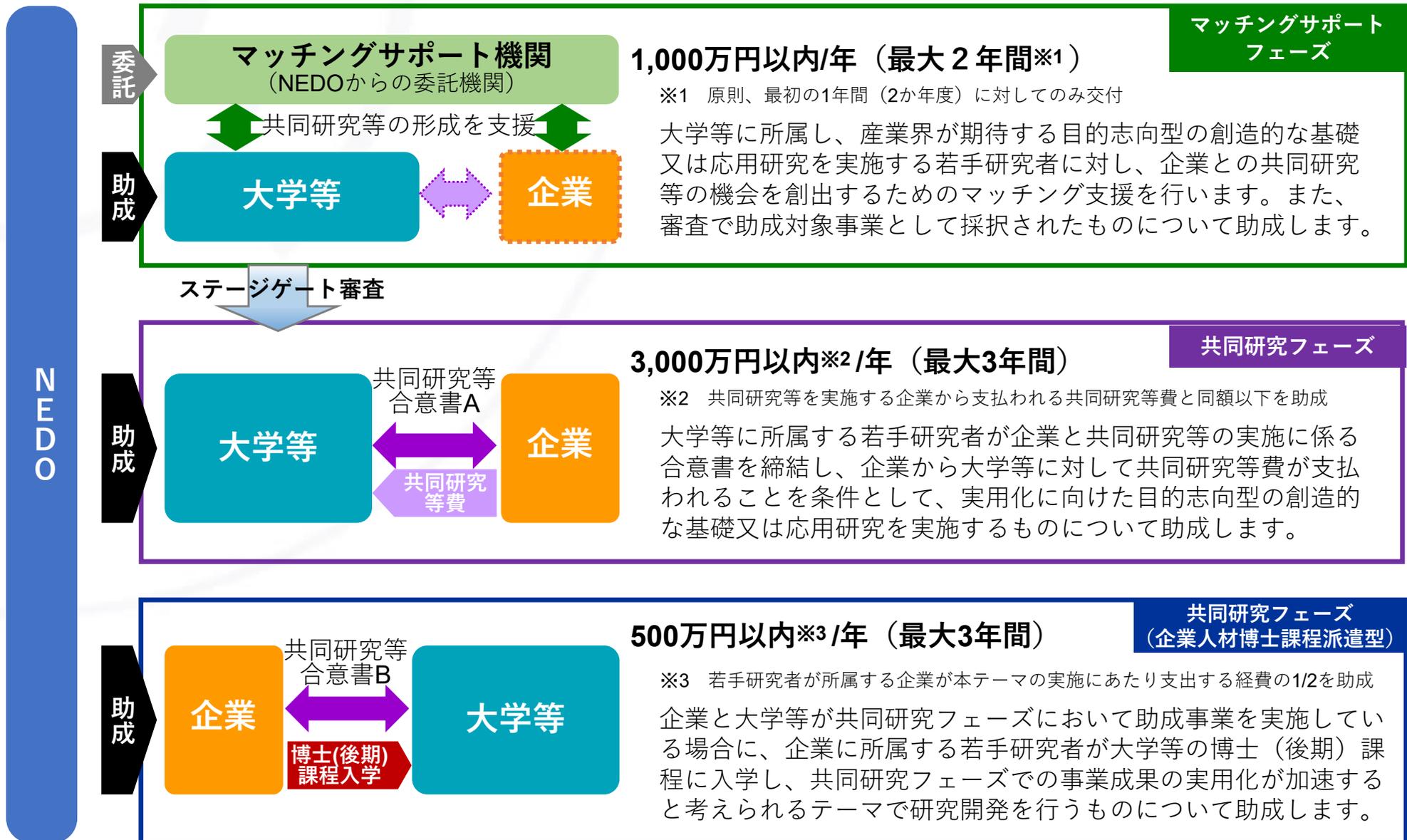
2.2. 官民による若手研究者発掘支援事業(若サポ)



	マッチングサポート フェーズ	共同研究フェーズ	共同研究フェーズ (企業人材博士課程派遣型)
事業概要	目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、 実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援 することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献。		
対象	大学等の若手研究者		企業※の若手研究者 ※共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施している企業
事業内容・事業形態	企業との共同研究等の実施に向けたマッチング支援及び研究開発に対する助成	企業との共同研究等に対する助成	大学等の博士（後期）課程に入学し、共同研究フェーズでの事業成果の実用化が加速すると考えられる研究開発を実施するものに助成
各テーマの実施期間	最大2年	最大3年 (2年を超えるテーマは中間評価により継続可否を審査)	最大3年 かつ主任研究者となる若手研究者が博士（後期）課程に在学する期間内 (2年を超えるテーマは中間評価により継続可否を審査)
各テーマの規模	年間1,000万円以内	NEDOからの助成金は年間3,000万円以内 (企業が大学等に支払われる共同研究等費と同額以下)	NEDOからの助成金は年間500万円以内 (企業が本テーマの実施にあたり支出する経費と同額以下)

若手研究者との共同研究等を後押しする

2.2. 官民による若手研究者発掘支援事業(若サポ)



官民による若手研究者発掘支援事業

2.2. マッチング支援の内容



①若手研究者発掘支援マッチングプラットフォーム

若手研究者が有する技術シーズを紹介する専門サイトを開設。

<https://wakasapo.nedo.go.jp/>



②企業へのシーズ紹介イベント

若手研究者の技術シーズを全国の企業に周知。

技術シーズに対する関心事項・要望等を収集。

③マッチングイベント

若手研究者と企業等とのマッチングイベントを、リアルまたはオンラインで開催。

④産学連携集合研修

研究者及び産学連携担当者向けに、産学連携の成立に向けたセミナーを実施。

⑤伴走型のフォローアップ支援

企業の関心事項を研究開発計画に反映するサポート、研究開発出口イメージの提案等の助言。

官民による若手研究者発掘支援事業

2.2. これまでの実績



マッチングサポートの成果

若手研究者と企業とのマッチングを支援するため、イベントや研修を複数回実施。



▲ マッチングイベントの様子

▲ 若手研究者への研修
(2024年度開催：計4回)

マッチングサポートフェーズ
(第1回～4回公募)
275テーマ

69*テーマが企業との共同研究等へ

* SG審査の通過件数



1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
2. **各事業のご紹介**
 - 1) NEDO先導研究プログラム
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) **NEDO懸賞金活用型プログラム**
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. 2025年度公募に関する情報

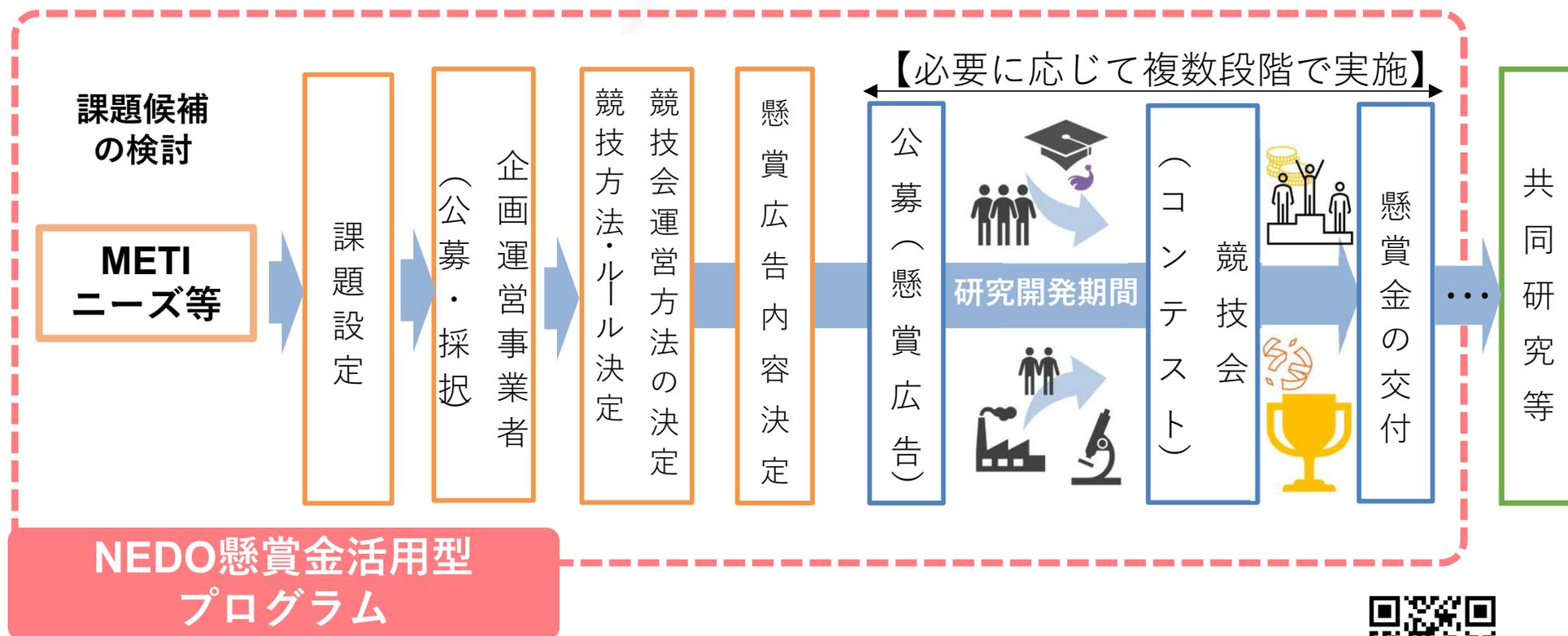
2.3.NEDO懸賞金活用型プログラム



概要

NEDO Challenge

技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・解決策を「コンテスト形式」による懸賞金型の研究開発方式を通じて募るプログラム“NEDO CHALLENGE”により、**将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘**することで、懸賞広告応募者と当該シーズのユーザーとの連携の機会を創出し、短期（2年後まで）に共同研究等につなげることを目指す。



2.3.N E D O 懸賞金活用型プログラム

2023年度設定課題

課題名	コンテスト名	懸賞広告 応募期間	Webサイト
衛星データを活用したソリューション開発	NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth	2024年3月18日 ～4月30日 (終了)	
リチウムイオン蓄電池の回収システムに関する研究開発	NEDO Challenge, Li-ion Battery 2025	2024年4月10日 ～6月10日 (終了)	
サイボーグAIチャレンジ	NEDO Challenge, Motion Decoding Using Biosignals	2024年7月25日 ～10月28日 (終了)	

2024年度設定課題

課題名	コンテスト名	懸賞広告 応募期間	Webサイト
量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発	(コンテスト準備中)	2025年3月～ (予定)	
製造事業者の業務ノウハウを形式知化するデジタルソリューション開発	(コンテスト準備中)	2025年3月～ (予定)	
衛星データを活用したソリューション開発	(コンテスト準備中)	2025年5月～ (予定)	

1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
- 2. 各事業のご紹介**
 - 1) NEDO先導研究プログラム
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム**
3. 2025年度公募に関する情報



プログラムの枠組み

「省エネルギー・非化石エネルギー転換技術戦略」（資源エネルギー庁、NEDO）において重点的に取り組むべき分野として特定した「重要技術」を中心に、**2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発**を支援し、省エネルギー型経済社会の構築及び産業競争力の強化をめざすプログラムです。

制度概要

制度実施期間 2021年度～2035年度

事業種別 助成（**技術開発費 = NEDO助成費（税抜） + 実施者負担**）

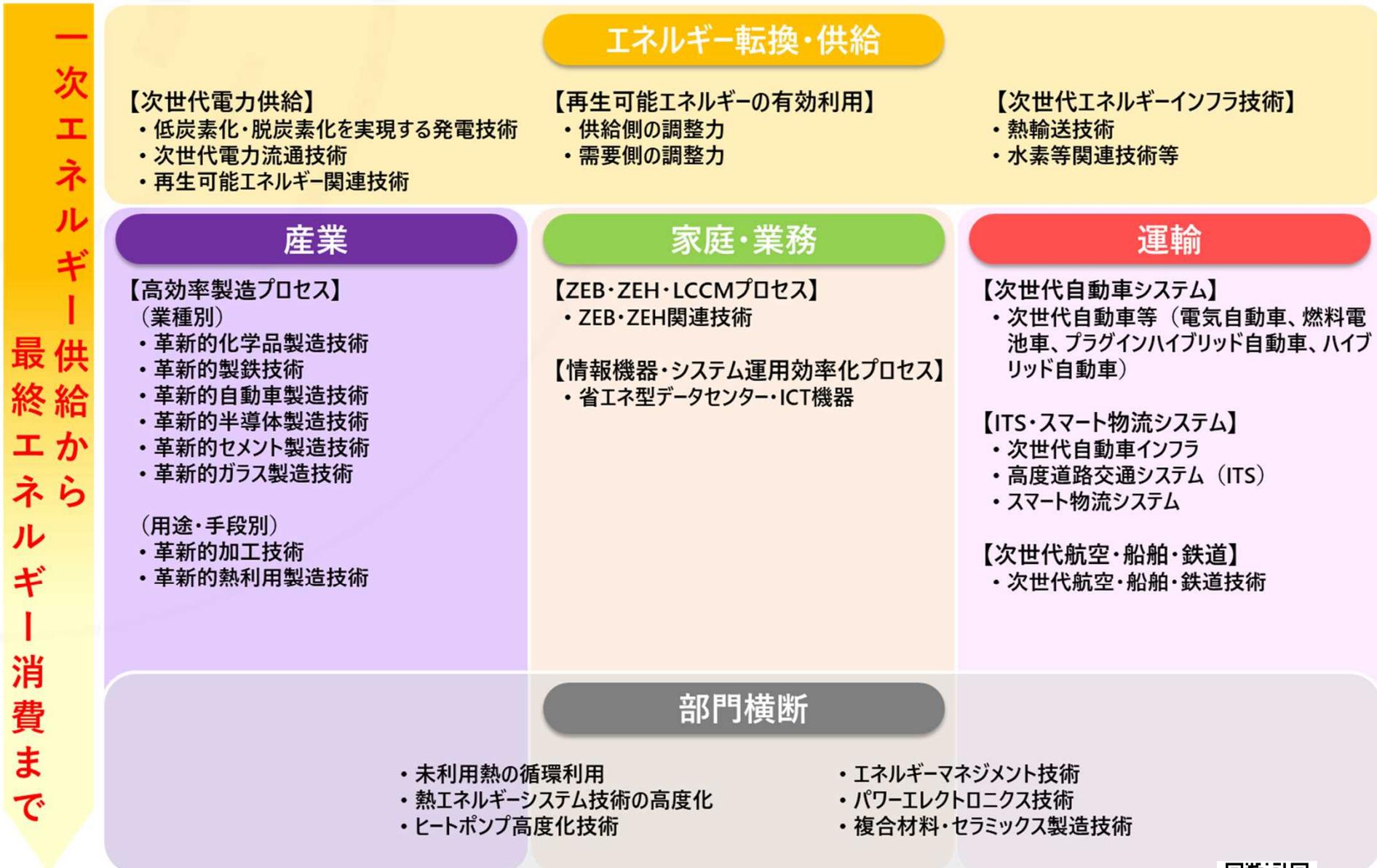
対象技術 「重要技術」を中心とする、「省エネ法」に定められたエネルギー（燃料、熱、電気）の**国内消費量**を削減する技術開発

対象事業者 日本国内に**研究開発拠点**を有している**企業、大学等の法人**
※大学等の単独提案は不可

省エネルギー効果量 2040年度時点において、日本国内で**10万 kL/年以上（原油換算）**



2.4. 「省エネルギー・非化石エネルギー転換技術戦略」に掲げる重要技術

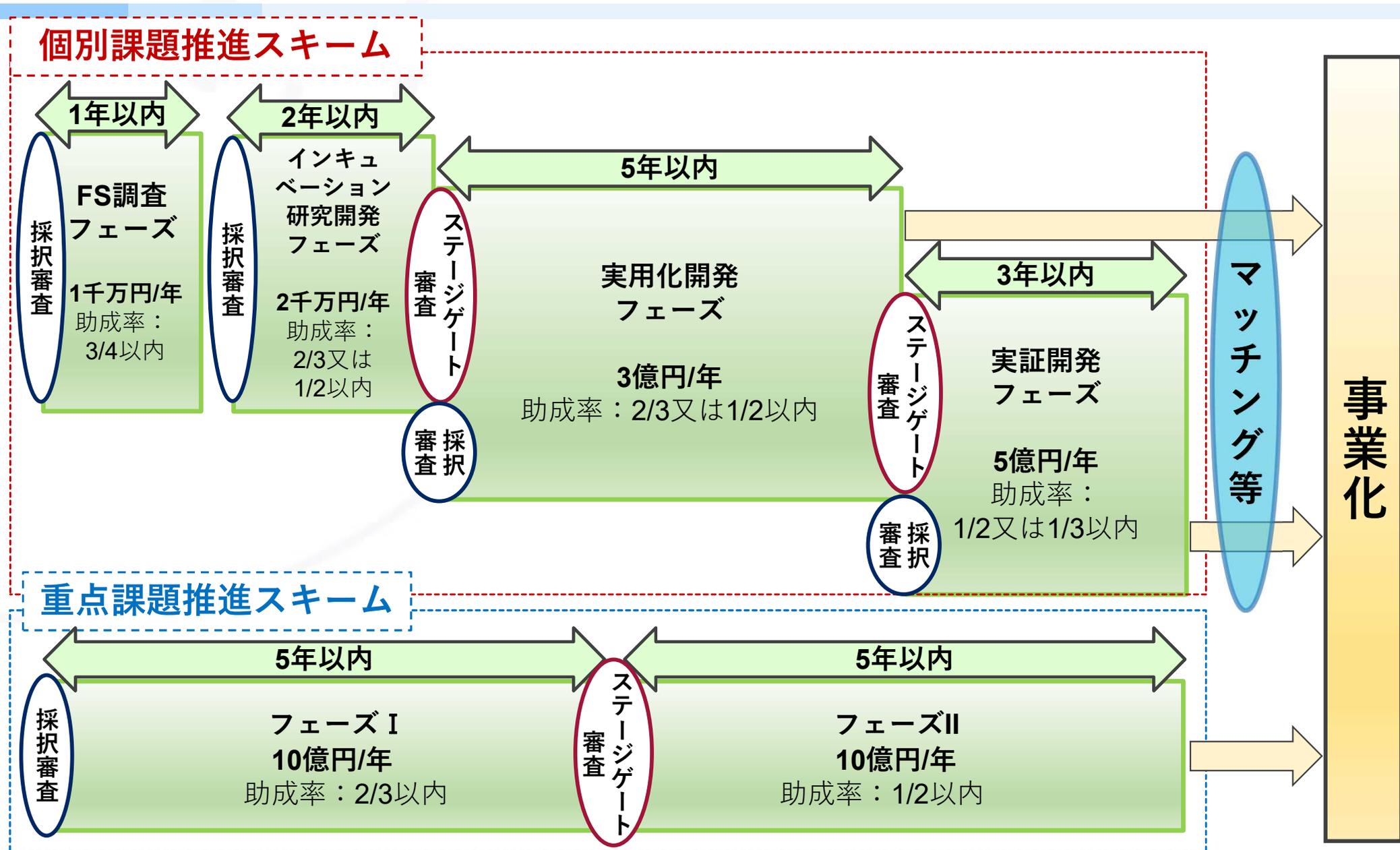


※詳細は、NEDO HP参照

https://www.nedo.go.jp/library/energy_conserv_tech_strat.html



2.4.公募スキーム 詳細



2.4.公募スキーム 詳細

	個別課題推進スキーム				重点課題推進スキーム
	FS調査	インキュベーション 研究開発	実用化開発	実証開発	
概要	シーズの事業性検討、開発シナリオ策定や省エネルギー効果の検討等を行うための事前調査。	技術シーズを活用し、 <u>開発・導入シナリオの策定等</u> を行う。 実用化開発・実証開発の事前研究。	保有している技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。 <u>本開発終了後3年以内に製品化</u> を目指す。	実証データを取得するなど、事業化を阻害している要因を克服し、 <u>本開発終了後2年以内に製品化</u> を目指す。	<u>2050年を見据え、業界の共通課題及び異業種に跨る課題の解決</u> に繋げる革新的な技術開発等、複数の事業者が連携・協力して取り組むべきテーマを設定し、技術開発を行う。
技術開発費 上限※1	1千万円／件・年 助成率： 3/4以内	2千万円／件・年 助成率： 2/3又は1/2以内	3億円／件・年 助成率： 2/3又は1/2以内	5億円／件・年 助成率： 1/2又は1/3以内	10億円／件・年 フェーズI、フェーズII 助成率：2/3、1/2以内
事業期間	1年以内	2年以内	5年以内 当初交付期間※2 2年 又は3年	3年以内 当初交付期間※2 2年	5年以内 + 5年以内 当初交付期間※2 2年又は3年
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・実用化、実証との組み合わせ必須 ・大企業※3は、<u>低い助成率</u>を適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の考え方を適用 ・大企業※3は、<u>低い助成率</u>を適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成先に<u>2社以上の企業</u>参画必須 ・<u>成果の普及を促す組織、団体等</u>の参画必須 	

※1. NEDO助成費 + 実施者負担分。消費税抜きの金額をNEDOが助成します。(消費税は事業者負担)

※2. 3年～5年事業を予定する場合、当初交付期間終了前に外部有識者による中間評価を実施し、継続可否を判断する。

※3. 大企業とは、資本金の額又は出資の総額が10億円以上且つ従業員2,000人以上の企業のことです。

テーマ公募型事業概略まとめ

事業名		対象者	体制	金額	実施期間	対象となる技術開発
新技術 先導 委託	エネ環	<ul style="list-style-type: none"> 大学 研究機関 企業 	産学連携	総額 2 億円以内 ※1年目：1億円以内 2年目：5,000万円以内 3年目：5,000万円以内	最大 3 年	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現 2040年以降の実用化・社会実装を見据えた技術
	新新					<ul style="list-style-type: none"> 新産業・革新技術創出 事業開始後15年から20年以上先の実用化・社会実装を見据えた技術
未踏 委託		<ul style="list-style-type: none"> 大学 研究機関 企業 	産学連携 or 大学や公的研究機関 単独	5 百万～2 千万円 /年	最大 5 年	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始後30年先を見据え、温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現する技術 既存技術の延長線上になく、従来の発想によらない革新的な技術シーズ
若サポ 助成	マッチング サポート	大学等に所属する 45歳未満の 若手研究者	大学や公的研究機関 単独	1,000万円以内/年	最大 2 年	若手研究者の研究開発
	共同 研究		産学連携	3,000万円以内/年 ※企業負担額が上限	最大 3 年	若手研究者の企業との共同研究
	共同研究 (企業人材博士 課程派遣型)	企業の若手研究者 ※共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施している企業	産学連携	500万円以内/年	最大 3 年	<ul style="list-style-type: none"> 大学等の博士（後期）課程に入学して進める、共同研究フェーズでの事業成果の実用化が加速すると考えられる研究開発
懸賞金		<ul style="list-style-type: none"> 個人 日本国法人格を持つ組織 	問わない	課題による		
脱炭素省エネ 助成		<ul style="list-style-type: none"> 企業 大学 研究機関 	企業単独 or 産学連携	1,000万円 ～10億円/年 ※フェーズによる	最大11年	2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発

1. フロンティア部のテーマ公募型事業の概略
2. 各事業のご紹介
 - 1) NEDO先導研究プログラム
 - ・ 新技術先導研究プログラム
 - ・ フロンティア育成事業
 - ・ 未踏チャレンジ
 - 2) 官民による若手研究者発掘支援事業
 - 3) NEDO懸賞金活用型プログラム
 - 4) 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
3. **2025年度公募に関する情報**

3. 2025年度公募に関する情報 ①予告

フロンティア部が担当する以下の事業について、公募の予告を公開いたしました。
2025年度公募の詳細は、本公募の開始後にNEDOホームページご確認ください。

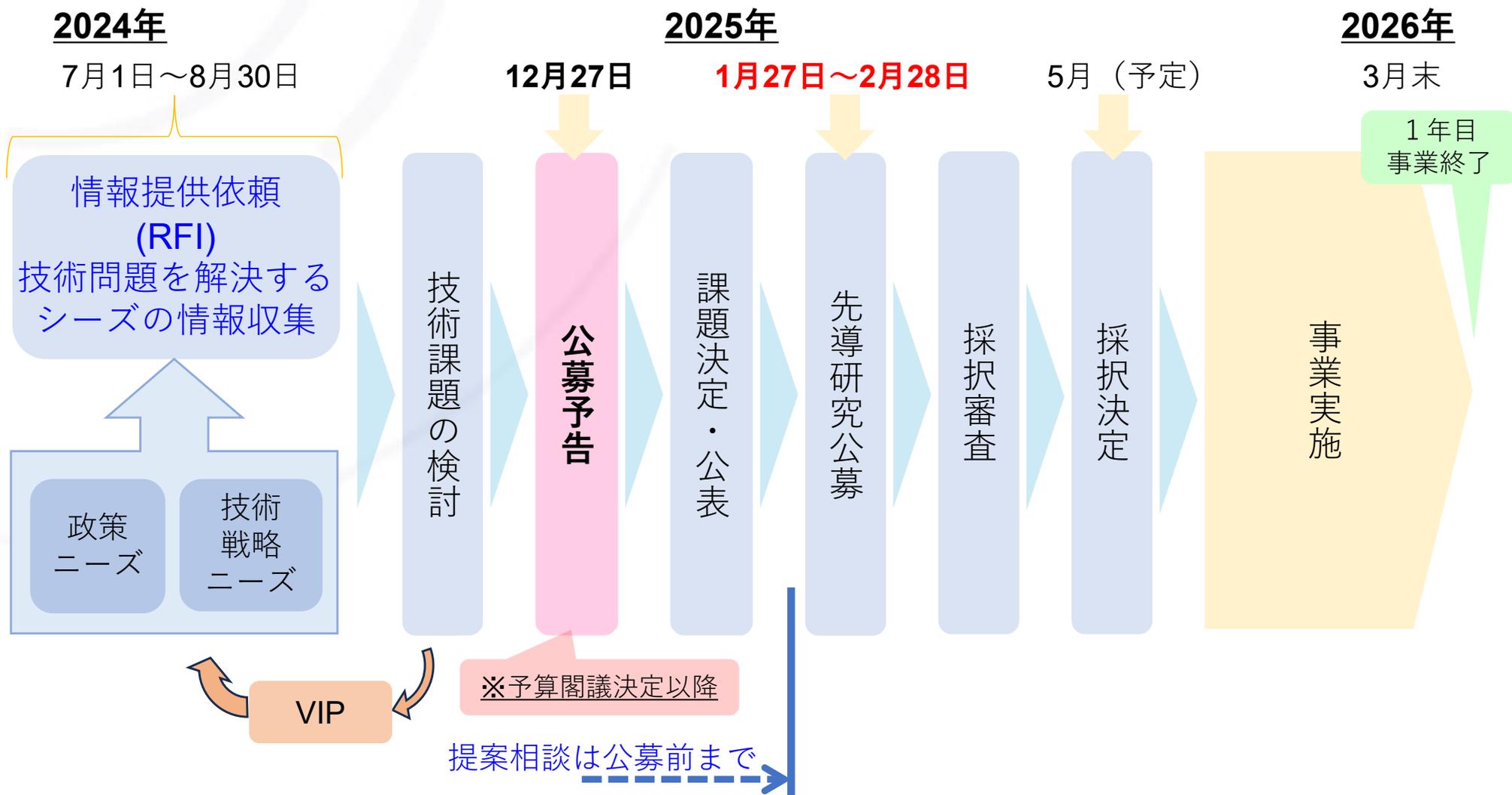
各制度の公募時期

制度名	公募時期（予定）
新技術先導研究プログラム	2025年1月27日～2月28日 公募ページはこちら⇒ 
フロンティア育成事業	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00084.html
未踏チャレンジ	2025年2月上旬から4月上旬
官民による若手研究者発掘支援事業	2025年3月下旬から5月中旬
脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム	2025年2月上旬から3月中旬

3. 2025年度公募に関する情報

公募スケジュール（2025年度公募＜予定＞）

（注）政府方針の変更等により、本事業にかかる公募内容や時期等を変更する場合があります。



3. 2025年度公募に関する情報 ③説明会



NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム及びフロンティア育成事業では**オンラインによる公募説明会**を実施します。
説明会の詳細は、下記リンクご確認ください。

参加申し込み方法

・公募説明会（オンライン）

説明会にご参加いただくには、事前の申し込みが必要です。
当日は、提案書類の記載方法や注意事項についてご説明いたします。

< 第1回 >

【日時】 2月7日（金） 10時00分～11時30分

【参加受付期限】 2月5日（水） 正午

< 第2回 >

【日時】 2月13日（木） 15時30分～17時00分

【参加受付期限】 2月10日（月） 正午

・説明会情報掲載ページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00084.html



3. 2025年度公募に関する情報 ③説明会

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラムは対面による公募説明会及び公募相談会と、オンラインによる公募説明会を実施します。

説明会の詳細は、下記リンクご確認ください。

参加申し込み方法

・公募説明会と公募相談会（対面）

説明会にご参加いただくには、事前の申し込みが必要です。

川崎・福岡・大阪・金沢・名古屋会場で実施します。

各日、事前申し込み期限は開催日より1営業日前の17時です。

・公募説明会（オンライン）

説明会にご参加いただくには、事前の申し込みが必要です。

当日は、提案書類の記載方法や注意事項についてご説明いたします。

開催日時：2月26日（水）13時30分～15時30分

- ・説明会情報掲載ページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/SM1_100001_00082.html



参考. 問い合わせ先等

各種制度、プログラムの利用に向けたご相談等は、
通年受け付けております。
社会実装に向けた研究のステップアップに伴走いたしますので、
ぜひお問い合わせくださいませ。

フロンティア部 各種問い合わせ先



NEDO先導研究プログラム

- ・ 新技術先導研究プログラム

RFIに関すること

rfi-enekan@nedo.go.jp

制度、公募に関すること

enekan@nedo.go.jp

- ・ 未踏チャレンジ mitou@nedo.go.jp

NEDO懸賞金活用型プログラム

sangi-jimu@nedo.go.jp

官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）

wakate-contact@nedo.go.jp

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術 研究開発・社会実装促進プログラム

shouene@nedo.go.jp

その他（お問い合わせ先に迷われた場合もこちらへ）

frontier-ms@nedo.go.jp